

令和五（二〇二三）年度史学科卒業論文題目

【日本史】

遣唐使における航海についての考察

白田 瞬希

日本各地への稲作文化定着までのプロセス

上村 航大

平城宮における宮城十二門の研究

— 東面宮城門の検討を中心に —

日下部健人

女帝誕生の正統性

— 古代の皇位継承問題とその政治的背景 —

左近 啓介

史料からみる日本古代食文化の変遷

佐々木泰仁

日本古代における門の性格

— 平城宮諸門に関する考察 —

武村 智生

継体天皇の出自と王朝交替説

田辺 元哉

古代における怨霊思想とその展開

津田ありさ

日本古代における「レガリア」の変容

— 「二種の神璽」から「三種の神器」へとなった背景を中心に —

堤 稜馬

伊勢斎王の制度とその創始

濱田 一歩

日本古代の王位継承と王権の確立

— 雄略天皇の即位と画期をめぐって —

平山 空

郡稻の成立とその起源

前田真友希

奈良時代における貴族の服飾について

— 制度の観点から —

向田 凌

日本古代の女官の変容

矢嶋 文奈

壬申の乱における功臣と地方豪族

矢田 晴紀

古代吉備氏と神社

☆ ☆ ☆

山崎 史人

高師直

大川 駿

山城国一揆について

河原 旭

御成敗式目について

岸洋介ミゲール

武田勝頼の再評価について

見城 幸太

天正地震における津波発生の有無を中心とした被害実態について

坂井 優斗

高屋城について

櫻井 颯

中世・南北朝以前の大和勢力

清水 宗真

伏見城

杉本明日香

細川ガラシャ

沼田紗也香

安土城焼失について

野村 凪

中世の長野県飯田下伊那地域の歩み

— 鎌倉・室町時代の伊那郡伴野庄から考える —

原 諒泰

平泉藤原氏					
残存史料から考察する征西府					
応仁の乱について					
大坂本願寺の寺内町について					
三木金物について					
武士成立論	☆	☆	☆		
江戸時代の墮胎・間引きにおける胎児観					
近世・近代日本における異性装					
国会開設期における入会地利用の変化					
日本近世の読み書き能力と出版文化					
戊辰戦争期の撒兵隊と周辺地域					
木曾義仲像の変遷					
近世の長崎貿易と抜荷					
近世の葦山代官と地域社会					
明治期のコレラと地域社会	☆	☆	☆		
近代日本における障がい者教育の展開について					
番組小学校と地域社会					
近代日本における家庭教育観					
部屋 裕俊	明治初年の農民騷擾				小池 裕介
松藤 拓也	近世後期における罪と罰				佐々木菜穂
南 眞太郎	近現代における被差別部落の女性の生活実態について				寫田 梨
宮本 晟界					竹内 和穂
真子 知也	大和川亀の瀬地すべりとその背景				
若生 健人	近代における西宮神宮開門神事の展開と地域社会				田中 奏
青木 優太	軍事施設と地方都市の発展				千代森健人
居山 美紀	一九三〇年代の国際観光政策と地域社会				中田 悠斗
川島 紅葉	明治期のコレラ流行とその対策				西田 昂平
竹下 優花	一九七八年宮城県沖地震の被害とその背景について				俣野 如子
中川 颯	明治後期の奈良における近代建築				松井 健勝
二ノ宮由大	第六回極東選手権競技大会について				松本 真治
前久保駿也	近代における大衆芸能の変化				山下 純資
望月 蘭					
森金ちひろ	☆ ☆ ☆				五百雀 優
大関 栄治	観光振興から見る昭和期の伊勢市の姿				
大橋 桜和	蔣経国体制下での日台関係の構築とその後				木戸脇壮汰
川田 一輝	— 実質関係維持と航空路線問題を中心に —				久保 旭
	独ソ戦の勃発・展開と日本				

昭和・平成期における日本の就職活動の変遷

— 就職協定を中心に —

狐坂 潤人

九条政基在荘時の和泉国日根荘と周辺地域の連携について

— 「クミノ郷」「桔之郷」「絞之郷」に関する考察 —

飛田 晃平

昭和期における富士山へのまなざしと地域社会

新開 康恒

佐竹氏による南奥州進出に関する考察

☆ ☆ ☆

村山祐一郎

一九六〇年代以降の大阪における朝鮮国籍書換運動

韓 美玲

近世紀行文にみる旅行観

明治〜大正期における「女性」社会主義者による女性解放

運動・娼娼運動の意義

市橋 菜香

中学校・高等学校の昭和史・平成史

— 何が、どのように、なぜ変わっていったか、変わらなかったか —

前野 友吾

二つの膝丸

四国遍路への認識の差異と変遷

河野 達也

☆ ☆ ☆

「羽黒騒動」についての考察

川村 京平

江戸時代の浮世絵から見るメディア戦略

河村 美穂

北条政子について

— 「御台所」と「母儀」をめぐる —

種子田紗希

岡山県におけるばら寿司の変化

楠田龍之介

鎌倉幕府三浦氏と馬についての考察

東護真之介

二〇世紀における化粧文化の変容

國枝穂乃佳

中世後期十柱香における「懸物」の一考察

— 『言継卿記』における懸物記事から —

中川 太陽

雑誌からみたモダンガールと新しい女
一九八〇年代の家庭用ゲーム機からみた現代社会のあり方

富永 音羽

松永久秀と足利義輝の関係について

中西 優輔

明治期における怪異・妖怪文化

中井 一稀

『看聞日記』にみる酒宴

— 伏見御所と京都一条東洞院「新亭」との比較 —

中西 栄美

小林多喜二が見た治安維持法

島山 大空

千秋万歳について

羽村 優花

地方路線と沿線自治体の変容
南予地域における祭りの祭礼化と牛鬼

廣岡竜太郎
松下 直樹

近世日本における輸入ワインと葡萄酒
茶会記から見る菓子の変遷

溝田 大翔
山口 由麻
バーブルのカーブル王国の領域とその支配
ラシード・ウッドレーンの歴史集成から見る初期モンゴル帝国
永石 悠祐
長崎 怜央

【世界史】

則天武后の生涯 —なぜ女帝になれたのか—

石田菜摘美
ビザンツ皇帝アレクシオス一世が見た地中海世界の変容

中国における粉食について

石田 麻彩
金山 直輝

琉球処分前後の日清交渉について

上田 涼斗
ジョン王とイギリス王権の発展
久保 響

朝鮮時代末期における中朝国境地帯の経済状況について

柴 尚玖
ローマ皇帝礼拝と属州社会
幸田 最士

—中朝外交との関連をふまえて—

柴 尚玖
ヘクトルが愛したトロイア

王直について

田中 友朗
—トロイアの繁栄と滅亡—
寺中 智輝

古代中国における秩序形成と酒

藤原忍アブドゥルラハマン
古代アンデスの宗教—死者崇拜を中心として—
小林 杏菜

『清明上河図』から見る北宋代開封の生活

山上阿里紗
古代ローマにおける円形闘技場
中尾亜来大

☆ ☆ ☆

十字軍国家の顛末

上田 脩人
最後の五賢帝—マルクス・アウレリウス—
中本 晶大

アッバース朝末期のカリフ宮廷の内情

江村 凌我
古代アテナイ人の死生観について
東原 順平

初期スーフイズムにおける修業方法とその変遷

大庭 愛梨
ホメロス叙事詩の成立
村田 雪菜

二つの『マカーマート』の誕生

加納 優香
☆ ☆ ☆
戦間期の日英関係

旅行記から見る一九世紀末の日本とペルシャ

堺 春人
文化支援の日英比較
上村 和志

一六世紀初頭の遊牧民国家と新興シリア派宗教国家の対立

尾崎 春香

田邊 知也

プラハの春後の連邦化とビロード離婚に至った要因

書川 琴音

太平洋戦争から見る田舎と都会の違いについて

相馬 久徳

一八世紀イギリス書籍業界の発展と作家

北川 雅崇

無差別攻撃の意義とモラルについて

竹富 翼

ドイツ統一をめぐる両独閥係

久保田源規

―空爆の歴史とモラルについて―

第二次世界大戦とフランスにおけるユダヤ人

高橋 輝

日米両国における原爆投下に対する考え方とこれから

筈篠 一輝

イギリスにおける公衆衛生の歴史

田中 奎伍

白豪主義と日英同盟

谷井 源起

GHQの占領政策が日本に与えた影響

友松 隆介

鉄条網の歴史

西元 郁人

―憲法改正問題についての考え方―

イギリスの男女雇用平等法

沼澤 琳

日本の新たな安全保障戦略について考える

野仲 雅人

戦後の沖縄南米移民

矢野 悠那

旧冷戦終結から「新冷戦」の国際形勢

潘 宇錯

イギリスのギャンブルの歴史

山口 大輔

世界各国のヒバクシャ

御手洗友果

☆ ☆ ☆

現在の核兵器による被害についての考察

黒い雨訴訟と広島・長崎

石谷 康丞

令和五（二〇二三）年度文学研究科修士論文題目

日本における原子力政策の変遷とその特異点

加藤健太郎

三国時代の「名士」と群雄の勢力基盤

原 誠人

戦争からみる人々の娯楽

清見 祥真

近代が結んだ新しい女性文化の繋がり

近藤 充輝

LGBTQの歴史

―二〇世紀半ばから現在までの世界の歩み―

佐藤 亮輔

核抑止論と核廃絶論

鈴木 俊亮

受贈雑誌及び図書

(二〇二三年一月一日～二〇二四年一〇月三十一日受贈分)

【雑誌】

- 愛大史学（愛知大学文学部歴史地理学科） 三三三号
愛知大学総合郷土研究所紀要 六九輯
青山史学（青山学院大学文学部史学研究室） 四二号
岩手史学研究（岩手史学会） 一〇四号
鴨台史学（大正大学史学会） 一八～一九号
鷹陵史学（鷹陵史学会） 五〇号
大分県立歴史博物館研究紀要 二四号
大阪公大日本史（大阪公立大学日本史学会） 二七号
大阪公立大学東洋史論叢（大阪公立大学大学院文学研究科
東洋史研究室） 一三三号
大谷大学史学論究（大谷大学文学部歴史学科） 二九号
オクサス学会紀要 追悼号
海南史学（高知海南史学会） 六二五号
漢学研究通訊（漢学研究中心 中華民國・台北市） 一六
八～一七一期
神田外語大学日本研究所紀要 一六号

紀尾井論叢（上智大学 Sapientia 会） 九号

京都学・歴史館紀要（京都府立京都学・歴史館） 七号

京都市歴史資料館紀要 三〇号

キリスト教史学（キリスト教史学会） 七八集

熊本史学（熊本史学会） 一〇四号

CHRONOS（京都橘大学女性歴史文化研究所） vol.49

群馬県立世界遺産センター紀要 四号

神戸大学史学年報（神戸大学史学研究会） 三九号

国士館史学（国士館大学史学会） 二八号

国史談話会雑誌（東北大学国史談話会） 六四号

史苑（立教大学史学会） 八四卷一～二号

史海（東京学芸大学史学会） 六七～六九号

史学（三田史学会） 九二卷三～四号、九三卷一～四号

史学研究集録（國學院大学大学院史学専攻大学院会） 四
八号

史観（早稲田大学史学会） 一九〇～一九一冊

四国遍路と世界の順礼（愛媛大学四国遍路・世界の順礼研
究センター） 九号

史聚（史聚会） 五七号

史泉（関西大学史学・地理学会） 一三九～一四〇号

- 史艸（日本女子大学史学研究会） 六四号
- 史叢（日本大学史学会） 一〇九～一一〇号
- 史友（青山学院大学史学会） 五六号
- 就実大学史学論集（就実大学総合歴史学科） 三八号
- 秋大史学（秋田大学史学会） 七〇号
- 上越社会研究（上越教育大学社会科学教育学会） 三八号
- 上智史学（上智大学史学会） 六八号
- 信大史学（信大史学会） 四八号
- 人文学報（東京都立大学人文科学研究科） 歴史学・考古学 五二号
- スペイン史研究（スペイン史学会） 三七号
- 住友史料館報 五五号
- 聖心女子大学大学院論集 四六卷一・二号合併号
- 西洋史学報（広島西洋史学研究会） 五〇号
- 西洋史論叢（早稲田大学西洋史研究会） 四五号
- 専修史学（専修大学歴史学会） 六八～七四号
- 橘史学（京都橘大学歴史文化学会） 三八号
- 地域研究いたみ（伊丹市） 五三号
- 千葉史学（千葉歴史学会） 八三～八四号
- 中央史学（中央史学会） 四七号
- 中京大学文学会論叢 一〇号
- 帝京史学（帝京大学文学部史学科） 三九号
- 帝京大学外国語外国文化（帝京大学外国語学部外国語学科） 一五号
- 東海史学（東海大学史学会） 五八号
- 東京大学日本史学研究室紀要（東京大学大学院人文社会系研究科・文学部日本史学研究室） 二八号
- 東北学院大学東北文化研究所紀要 五五号
- 東洋史苑（龍谷大学東洋史学研究会） 九七～九八号
- 東洋大学文学部紀要 史学科篇 四九号
- 東洋文化研究（学習院大学東洋文化研究所） 二六号
- 七隈史学（七隈史学会） 二六号
- 奈良学研究（帝塚山大学奈良学総合文化研究所） 二六号
- 奈良県立民俗博物館研究紀要 二四号
- 奈良時代政治史研究（奈良時代政治史研究会） 二～四号
- 寧楽史苑（奈良女子大学史学会） 六九号
- 奈良歴史研究（奈良歴史研究会） 九四～九五号
- 鳴門史学（鳴門史学会） 三七集
- 新潟史学（新潟史学会） 八六～八七号
- 日本研究（国際日本文化研究センター） 六八集

日本思想史研究（東北大学大学院文学研究科日本思想史研究室） 五五号

日本常民文化紀要（成城大学大学院文学研究科） 三八輯

日本文化史研究（帝塚山大学奈良学総合文化研究所） 五

五号

日本モンゴル学会紀要 五四号

年報近現代史研究（近現代史研究会） 一六号

年報中世史研究（中世史研究会） 四九号

白山史学（白山史学会） 六〇号

パブリック・ヒストリー（大阪大学西洋史学研究所） 二

一号

彦根城世界遺産登録推進協議会紀要 一輯

非文字資料研究（神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料

料研究センター） 二七号

非文字資料研究センター News Letter（神奈川大学日本常

民文化研究所非文字資料研究センター） No.50～51

弘前大学国史研究（弘前大学国史研究会） 一五五～一五

六号

文学論叢（愛知大学人文社会学研究所） 一六一輯

碧南市藤井達吉現代美術館研究紀要（同年報令和二・三・

四年度） No.7

法政史学（法政大学史学会） 一〇〇～一〇一号

法政史論（法政大学大学院史学会） 五一号

北大史学（北大史学会） 六三三号

北陸史学（北陸史学会） 七二二号

三重大史学（三重大学人文学部考古学・日本史・東洋史研

究室） 二四号

御影史学論集（御影史学研究会） 四九号

三井文庫論叢 五七号

民具マンスリー（神奈川大学日本常民文化研究所） 五六

巻八～一二号、五七巻一～七号

明大アジア史論集（明治大学東洋史談話会） 二八号

メトロポリタン史学（メトロポリタン史学会） 一九号

ヨーロッパ文化史研究（東北学院大学ヨーロッパ文化総合

研究所） 二五号

米沢史学（山形県立米沢女子短期大学日本史学科米沢史学

会） 三九号

洛北史学（洛北史学会） 二六号

立正史学（立正大学史学会） 一三四～一三五号

立命館史学（立命館史学会） 四三三号

龍谷史壇（龍谷史学会） 一五七～一五九号

歴史（東北史学会） 一四一～一四二輯

歴史研究（大阪教育大学歴史学研究室） 六一号

歴史研究（愛知教育大学歴史学会） 六九号

歴史人類（筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人

文社会科学研究群人文学学位プログラム歴史・人類学サ

プログラム） 五二号

歴史と民俗（神奈川大学日本常民文化研究所） 四一号

和菓子（虎屋文庫） 二二号

Japan Review (The International Research Center for

Japanese Studies) 38

【図書】

明石の燐寸（明石市史編さん委員会）

石川県能美市・小松市河田向山古墳群（金沢学院大学文学

部二〇二二年度考古学特殊講義履修者）

茨城県土浦市前神田遺跡・大畑本田遺跡―令和二年度市内

遺跡発掘調査報告書―（土浦市教育委員会）

茨城県土浦市武者塚古墳・坂田塙台一号墳―土浦市教育委

員会「筑波大学考古学研究室共同発掘調査報告書2―（土

浦市教育委員会）

茨城県土浦市令和四年度土浦市内遺跡発掘調査報告書（土

浦市教育委員会）

茨木市立文化財資料館開館四〇周年記念第四〇回テーマ展

藤原鎌足と大織冠信仰

大分県仏教美術調査報告一〇 国東半島の石塔（大分県立

歴史博物館）

大分県仏教美術調査報告一一 天保十二丑年踏絵紀行（大

分県立歴史博物館）

大分県立歴史博物館年報二〇二三

金沢学院大学考古学調査報告4 河田山九号墳確認調査報

告書（1）（金沢学院大学文学部文学科歴史学専攻考古学ゼミ）

企画展図録 扁額・古文書・檀林関係資料―京都府暫定登

録文化財となった向日市内の文化財のなかから―（向日

市文化史料館）

京都大学総合博物館収蔵資料目録第一号 若王子神社文

書・御影堂宣阿弥文書・中孫三郎家文書（岩崎奈緒子・

高井多佳子）

金鱗叢書 史学美術史論文集 第五一輯（徳川黎明会）

四條畷市史資料第二集 河内国讃良郡中野村・南野村・岡

山村文書―平尾兵吾氏収集文書―(四條畷市教育委員会)

新編知立市史別巻 はじめての知立市史

相武地域史研究会第四回シンポジウム 軍隊・戦争と地域

社会―津久井・横浜・小田原―報告書

第三八回特別展 天ニ不時之災害ヲ起ス有リ 後ノ記憶ト

為ス―遺跡と記録にみる災害と防災―(四條畷市立歴史

民俗資料館)

第八十二回虎屋文庫資料展 包む・彩る・伝える 「虎屋

のパッケージ」展

千曲市武水別神社神官松田邸開館記念特別展 徳川家康×

武田信玄「松田家文書」と「屋代家文書」千曲市の二

大中世文書(千曲市教育委員会歴史文化財センター武水

別神社神官松田邸)

調査研究報告 No. 73 戦時期における植民地住民子女の学

校教育経験(梅野正信編 学習院大学東洋文化研究所)

調査研究報告 No. 74 戦時期の大連・新京における中学校

生徒の生活と時代認識 聞き取り調査から(市山雅美編

学習院大学東洋文化研究所)

調査研究報告 No. 75 日本語における漢語語基史と新漢語

史のための基礎的調査研究―漢字・漢語の、気づかない

近代化―(安部清哉編著 学習院大学東洋文化研究所)

調査研究報告 No. 76 *School Culture and Heatstroke in*

Secondary and Higher Education in Japan and Malaysia

(Izumi Yamasaki et al. 学習院大学東洋文化研究所)

土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第二十九号

二〇二二年度愛知大学人文社会学研究所主催オンラインシ

ンポジウム報告書 コロナ禍とどのように向き合うか―

人文社会学の知見をもとに考える

日本歴史学協会年報 三十九号

函館カトリック元町教会調査報告書(函館カトリック元町

教会調査研究委員会編)

宮城県多賀城跡調査研究所年報二〇二三

柳沢文庫年報第一二号 令和五年度(郡山城史跡・柳沢文

庫保存会)

令和六年度夏期企画展 万葉挽歌―人形からみる古の奈

良―(奈良文化財研究所)

令和六年度平城宮跡資料館秋期特別展 聖武天皇が即位し

たとき。―聖武天皇即位一三〇〇年記念―

〔谷口雄太論文掲載にあたっての経緯説明〕

本号には、『奈良史学』第四一号所収の濱松里美論文に対する批判として、奈良大学史学会非会員である谷口雄太氏（中世日本史、現青山学院大学文学部史学科教員）の投稿論文が掲載されています。二〇二四年度の奈良大学史学会会長として、以下に谷口論文掲載に至る経緯をご説明いたします。

本誌第四一号が二〇二四年二月一日付で発行され、奈良大学リポジトリでもすぐさまインターネット公開されたところ、同年六月、かねてより私木下と研究交流のあった谷口氏より、濱松論文に対する疑義がメールで示されました。疑義の内容が、事実認識や史料解釈の簡単な誤認といった「軽微」なもの——歴史学ではこれ自体、重要な批判となりますが——であれば、本人同士の私信のやりとりで済ませてもよかったです。ですが、本号の谷口論文にあるように、濱松論文への批判内容が、研究史整理や引用の方法、および論理展開といった重要事におよぶことがわかりましたので、木下から谷口氏へ、濱松氏のためのみならず、研究史全体の建設的な発展のためにも、是非批判論文を発表していただきたいこと、その際には、公共的な一学会でもある奈良大学史学会の健全な運営のため

にも、投稿先として『奈良史学』も是非ご検討いただきたいことをお伝えしました。

その後、八月末に谷口氏より、『奈良史学』へ批判論文を投稿する意志がある旨の連絡があり、奈良大学史学会の構成員である史学科教員へ投稿の可否について諮りましたところ、査読を前提に投稿を可とすることが九月半ばに決定されました。これをうけ、一〇月前半に谷口論文の投稿があり、すぐさま日本史教員二名・世界史教員一名にて査読をおこない、若干の修正意見を加えて掲載を可とすることが決定され、本号での収録に至りました。

建設的な批判と反批判の場が保証（保障）されることは、学問と学界（学会）の民主的存立と健全な運営・発展という、学術の根幹に関わる決定的な重要事です。『奈良史学』がそのような場を提供できていることを誇りに思うとともに、それを実現し、歴史学者として真摯にご対応いただいた谷口氏に、あらためて厚くお礼申し上げます。

（二〇二四年度奈良大学史学会会長 木下光生）

『奈良史学』第四二号をおとどけます。今回も盛りだくさんの内容となりました。寄稿者のみなさまありがとうございます。さらに広範に議論がかわせる場になるよう工夫をすずめてまいります。（編集担当 河内将芳）

奈良史学 第四十二号

二〇二五年二月一日発行

発行者 奈良大学史学会
会長 木下光生

奈良市山陵町一五〇〇奈良大学文学部内
〒六三一―八五〇二
TEL. 〇七四二―四四―二二五一(代)
振替 〇〇九九〇―二―三二五九九九

印刷所 共同精版印刷株式会社

奈良市三条大路二丁目二―一六
〒六三〇―一八〇―二三